



全建基発第 6 号  
平成23年 8月25日

厚生労働省  
年金局長 榮畑 潤 殿

全国建設業厚生年金基金協議会  
会長 鈴木 雅博

### 厚生年金基金運営上の要望について

厚生年金基金の事業運営につきましては、日頃より格別のご高配を賜りお礼申し上げます。

さて、私ども全国建設業厚生年金基金協議会は、全国の建設業厚生年金基金を会員とし、会員相互の緊密な連携のもとに、基金の運営上の諸問題についての情報交換及び調査研究を行い、もって基金制度の健全な発展と会員相互の親睦を図ることを目的に組織しております。

先般、全国理事長会議を開催し基金運営上の諸問題について話し合い、次のとおり要望を取りまとめました。

現下、世界的に経済が不安定で、国内でも東日本大震災により広範囲の地域が被害を受け、基礎年金の国庫負担に必要な 2.5 兆円すら震災の復旧財源に転用せざるを得ないような状況となっております。

このような状況下で、既成の基準あるいはその延長線上の考え方をもって設立事業所の事業主や加入員の理解を得ることは困難ですので特段のご配慮をお願いします。

#### 記

- 1 掛金の引き上げを凍結することとしていただきたい。
- 2 下方回廊方式を恒久化としていただきたい。
- 3 最低責任準備金(継続基準)の算定における「代行給付相当額」と「実際の代行部分給付額」が乖離しているのを改善していただきたい。
- 4 非継続基準を廃止していただきたい。
- 5 不足金処理の財源措置を講じていただきたい。